

▶ きっかけ

将来の法制度や 人材確保を見据えて

2017年夏、中小企業の間で健康経営が広まりつつあることを取り上げた新聞記事を受け、将来的な残業上限の法制度化や人材確保を見据えた経営改革のため、経営トップの決断により優良法人認定レベルを目指して取り組みを開始。

▶ 効果・メリット

三位一体の取り組みで 生産性向上を実感

ダイバーシティ推進・働き方改革・健康経営に三位一体で取り組み、生産性向上を実感。社外にもPRすることで企業価値向上に役立っている。



▶ 組織体制

経営トップの下、2つの事業所（工場）それぞれの衛生管理者を健康づくり担当者として任命し、職制と安全衛生委員会メンバーとが協働で行う体制。また、産業医と協会けんぽ福井支部のサポートを受けている。健康づくり担当者には健康経営アドバイザー資格を取得してもらい、社内に対して健康経営の必要性を伝え、積極的な取り組みを推進。

▶ 主な取り組み

- ① 毎日朝礼時に「腰痛体操」と、従業員の健康状態の確認と報告の徹底を継続。
- ② 定期健診の結果で再検査が必要な場合の受診勧奨に注力。
- ③ 適切な働き方の実現に向けた取り組みを実施。